



11
月

パストラル尼崎

霜
月

No.161, 2025(R7)年10月25日

〔編集・発行〕

パストラル尼崎

尼崎市潮江1丁目10-2

Tel. 06-6493-0521

Fax. 06-6493-0301

発行責任者：竹田 恵之

◆十一月の歳時記◆

「あの時、トイレットペーパーは何故消えた？」



今、「メ不足や価格の高騰など」「令和の米騒動」などと言われる不安定な世の中ですが、今から52年前、オイルショックを発端とした俗にいう『トイレットペーパー騒動』が全国で起こった事は、皆様が一番ご存知だと思えます。当時、噂が噂を呼び、トイレットペーパーをはじめ、洗剤、砂糖、小麦粉などが一斉にスーパーの棚から消えました。商品を求め、開店と同時に人を押しのけ売場へダッシュ、転倒する方や怒号が飛び交うなど、店内はパニック状態となりました。モノがなくなるといふ恐怖心の前では日本人の美德などは露と消え失せ、群集心理の怖さを肌で感じたものでした。

実は、そのきっかけとなったのが大阪千里ニュータウンの「大丸ピーコック千里中央店」だということです。当時の従業員は、「当日出勤したら開店前に200人位の行列が出来ていた。主婦たちが押しかけ、次々とトイレットペーパーを買い求めていく。もうびっくりに仰天！。これはえらい事や。訳が分からなかった」。11月1日、これがメディアにのり、日用品の買い占めが全国に広がっていきました。この騒動の背景にはオイルショックがあったにせよ、なぜトイレットペーパーだったのでしょうか？ この点について考察した記事が面白かったのでご紹介します。

大阪万博が開かれた1970年にかけて建設された千里ニュータウンは若い世代が一挙に入居して出来た新しい街でした。上下水道完備で、当時はまだ30%程度の普及率だった水洗トイレが、この街では各家庭に当たり前のようであったのです。けれど水洗トイレでは水に溶けるトイレットペーパー以外は使えない。千里ニュータウンに暮らす12万人にとって、トイレットペーパーは「生活の命綱」だったのです。そこへ、ある噂が流れたという。「八百屋さんのおばさんと話したら、来られたお客さんが『大変や。オイルショックでトイレットペーパーがなくなるらしいよ』っていうんです。」若い子育て世代が多く、住民どうしの助け合いが当たり前だった町では、噂の「拡散」も速く、『千里5分』と言われるほどの黒歴史」として、長く住民が口を開く事ははばかれてきたが、絶対的な悪人は誰もいなかった」と語ります。そんな歴史を見てきた大丸ピーコックが一昨年、閉店。デマに踊らされる事なくあの時の教訓を忘れないようにしなくてはなりませんね。

頑張った！『フレイル測定会』

10月6日（月）理学療法士の川原監修の下、「フレイル測定会」が開催されました。5つのプログラムと明治

（株）協賛の『体組成測定』で、現在のご自分の「フレイル度」を知り、今後の体力維持、向上に生かして頂くという目的で実施。昨年も同様の測定会が実施されましたが、理学療法士が参加者のデーターを保存し、今年のデーターと比較。体力が維持されているかどうか？どの部分に衰えが見られるか？などを可視化する事により、お一人おひとりにあった的確なアドバイスが出来るようになりました。今年度の結果は、10月の運営懇談会で川原から詳細が語られましたが、当日の測定会の様子を少しご紹介させて頂きたいと思います。

それぞれのブースに目をやると、結果に納得いかない方が再挑戦する熱い姿や、靴が邪魔なのか靴下まで脱ぎ捨て真剣に記録に向き合う姿、「まだいける！まだいける！」のスタッフの声援を受け、想定外？の好記録にほほ笑む方がいる一方、「去年より悪かった」と落ち込む方も・・・けれどすぐさま、「さっきの（種目）で足を使いすぎたからふらついたんやわ～」と強気の自己分析をする方もおられるなどポジティブな方が多いのもパストラル尼崎ならではの？（笑）結果を見せ合いワイワイ談笑したりするのもフレイル予防になっているに違いありません。さて1年後の結果はいかに？・・・

令和7年度

パストラルシニア大学

今年度も多彩な講師をお迎えし、充実した内容でお届けしています。講師陣からその受講姿勢を絶賛されている皆さま。今年度も是非ご参加下さい。

＊毎回フロントにお申込み下さい。

＊当日は、学生証も忘れずに！

第6回

『飼育員さんが語る 動物園の面白エピソード』

・日時：11月21日（金）14時

講師

王子動物園

係長 島田 幸宣 氏



動物園の知られざる様々なエピソードなどを語って頂きます。
お好きな動物の質問もOKです。